

令和 3 年度広島都市学園大学 FD 推進活動実績報告書

広島都市学園大学 FD 推進委員会報告

目次

1. FD 推進委員会における FD 活動

- 1. 1 令和 3 年度 第 1 回 FD 委員会 議事録 (4/16) 2
- 1. 2 令和 3 年度 FD 委員会活動計画 4
- 1. 3 令和 3 年度 第 2 回 FD 委員会 議事録 (5/27) 5
- 1. 4 FD 教員間授業参観概要 6
- 1. 5 FD 教員間授業参観 (2021 年度前期) 実施報告 11
- 1. 6 令和 3 年度 第 3 回 FD 委員会議事録 (9/10) 13
- 1. 7 令和 3 年度 授業アンケート様式 18
- 1. 8 令和 3 年度 リハビリテーション学科 FD 研修「過換気症候群への対応」概要
. 19
- 1. 9 「過換気症候群への対応」研修実施報告 (10/1) 21

2. 資料

- 2. 1 FD 教員間授業参観 (2021 年度前期) 実施者リスト 23
- 2. 2 令和 3 年度 リハビリテーション学科 FD 研修「過換気症候群への対応」参加者リスト
. 24
- 2. 3 令和 3 年度 広島都市学園大学 FD 推進委員会 委員名簿 25

日 時：令和3年4月16日

出席：平岩、田丸、松原、後藤、馬屋原 欠席：谷川、金藤

場所：広島都市学園大学宇品キャンパス

目的：FD推進委員会活動方針の決定および年間活動計画の決定

1. 年間計画

計画案（別紙1）のうち、新任教員への研修（学園の理念の周知）は辞令交付、4月の互例会にて代用する。審議により修正した活動計画は（別紙2）に示す。

2. 行事内容

① 講座

年2回の開催

8月の開催企画準備はリハビリ学科、3月は看護学科で分担する。

方法として

講師を呼ぶ方法のほか、テーマを決め看護・リハビリ学科教員のグループワークなど。

講師を依頼する場合は田丸先生に推薦していただき、予算等検討していただく。8月開催の場合、予定確保のため5月に講師を決定する。

テーマとして

教材の作り方、実習指導、国家試験対策、教授方法、学生面談、ハラスメント対策等があげられた。

学校機能評価の際、出席表等が必要。必要な様式について田丸先生にご教示いただく。

② 教員相互の授業参観

参観希望者は授業開催者にオンライン授業の場合はZOOMのアクセス先を伝えてもらう、演習授業は事前にお願ひし、マスクやフェイスガード等の感染対策をする。

③ 授業アンケートによる自己点検・評価

前後期各授業後に行われる学生アンケートは学科長と各教員に伝えられる。各教員から自己点検・評価表を提出してもらう。様式は田丸先生に提示していただく。

3. その他

次回の委員会は両学科教員の日程を確認し、ZOOMで行う。

次回開催：5月中

(別紙1)

令和3年度FD委員会活動計画(案)

1. 活動方針

1) ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development、大学教員組織および職員集団能力開発、以下FDと略す)「大学教員の教育能力を高めるための実践的方法」大学の授業改革のための組織的な取り組み方法や大学構成員の研鑽のための研修を企画する。

①教員の教育技法(学習理論、授業法、討論法、学業評価法、教育機器利用法、メディア・リテラシーの習熟)を改善するための支援プログラム

②アセスメント(学生による授業評価、同僚教員による教授法評価、教員の諸活動の定期的評価)

③大学教職員の倫理規程と社会的責任の周知

④自己点検・評価活動とその活用

2) 時代背景及び社会状況に沿ったFDの具体的活動内容を検討、決定し委員会活動内容に反映させる。

2. 活動内容 委員会(2カ月に一度程度)と行事の開催

4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動方針・活動計画の検討を決定 ● 年間講座の計画 ● 教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催企画
5月	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月開催講座の企画 ● 新任教員のための研修会 大学の理念・目標、教育制度の理解(大学設置基準、学則、履修規則、単位制度)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員相互の授業参観の実施
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の打ち合わせ
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の開催
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期授業アンケートによる自己点検・評価
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員相互の授業参観の実施
11・12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月開催講座の企画
1月	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月開催講座の打ち合わせ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期授業アンケートによる自己点検・評価
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の開催 ● 年度内の振り返り・評価 ● 次年度計画案作成

令和3年度FD委員会活動計画

1. 活動方針

1) ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development、大学教員組織および職員集団能力開発、以下FDと略す)「大学教員の教育能力を高めるための実践的方法」大学の授業改革のための組織的な取り組み方法や大学構成員の研鑽のための研修を企画する。

①教員の教育技法(学習理論、授業法、討論法、学業評価法、教育機器利用法、メディア・リテラシーの習熟)を改善するための支援プログラム

②アセスメント(学生による授業評価、同僚教員による教授法評価、教員の諸活動の定期的評価)

③大学教職員の倫理規程と社会的責任の周知

④自己点検・評価活動とその活用

2) 時代背景及び社会状況に沿ったFDの具体的活動内容を検討、決定し委員会活動内容に反映させる。

2. 活動内容 委員会(2カ月に一度程度)と行事の開催

4月	<ul style="list-style-type: none">● 活動方針・活動計画の検討を決定● 年間講座の計画● 教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、研修会の開催企画
5月	<ul style="list-style-type: none">● 8月開催講座の企画
6月	<ul style="list-style-type: none">● 教員相互の授業参観の実施
7月	<ul style="list-style-type: none">● 講座の打ち合わせ
8月	<ul style="list-style-type: none">● 講座の開催
9月	<ul style="list-style-type: none">● 前期授業アンケートによる自己点検・評価
10月	<ul style="list-style-type: none">● 教員相互の授業参観の実施
11・12月	<ul style="list-style-type: none">● 3月開催講座の企画
1月	<ul style="list-style-type: none">● 3月開催講座の打ち合わせ
2月	<ul style="list-style-type: none">● 後期授業アンケートによる自己点検・評価
3月	<ul style="list-style-type: none">● 講座の開催● 年度内の振り返り・評価● 次年度計画案作成

令和3年度 第2回FD委員会 議事録

日時：R3年5月27日（木）13時から13時40分

参加者：看護 松原、後藤、金藤、リハビリ 平岩、谷川、馬屋原、子ども教育 戸谷

目的：教員相互授業参観の実施に関する決定

1) 教員間授業参観

・推薦授業

学科長のもとに集計されている昨年の授業アンケートから評価の高い授業を推薦していただく。

可能であれば学科学部に関わらず参観。

・教員への周知

文書（別紙1）

・参観後の報告、提出先

報告書（別紙2）

提出先は各学科長かFD委員（平岩、松原、戸谷）いずれかは各学科長と相談し決定する。

・期間

前期授業中6、7月

・方法

参観する授業の先生に各教員が事前に許可を取る。ZOOM授業の場合はアドレスを、オンデマンド授業の場合は設定を事務にお願いする。

全員最低1回参観していただく。科目担当の少ない新任教員は複数の授業を参観してもよい。

・各学科会議にて周知。学科会議資料（別紙3）

2) 8月講座

リハビリ教員担当

次回会議：7月を予定

FD 教員間授業参観概要

目的

授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互参観・授業公開を実施します。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄について解決策を見出すことで授業改善に役立てます。

期間 令和3年6月から7月

方法 各学科の推薦講義を参観の対象とする。他の学科の講義を参観可能。

対象講義 教員

理学療法学専攻教授 藤村昌彦専攻長

理学療法学専攻准教授 上川紀道先生

作業療法学専攻准教授 川畑なみ先生

作業療法学専攻講師 角田孝行先生

＊ロイロノートFD参観用授業にオンデマンド講義をUPしていただき、各教員は可能な時間に参観。

＊ほか川畑先生には、6月末から7月の対面講義を公開していただく予定。講義日程と教室が決まりましたら、お知らせ。

看護学科教授 津田右子先生（基礎看護学）

「基礎看護学概論」の講義で、水曜日の5時間目（16：20-17：50）

6月16日、23日、30日、7月7日、14日。

看護学科准教授 藤原理恵子先生（小児看護学）

「発達看護学概論」の講義で、月曜日の2時間目（10：40-12：10）に6月14日（月）、21日、28日の3回。

＊看護学科の講義はZOOMです。参観希望者については、リハビリ学科で取りまとめて看護FD委員松原教授に連絡。希望者はFD委員平岩まで6月15日までにお申し込み。

子ども教育学部 未定

＊決まり次第お知らせ

参観後

別紙の報告書を共有フォルダFD参観授業へ提出。2021年6～7月中（今年度前期）に各教員1回以上の参観をお願い。

(別紙1)
教員各位

令和3年5月

FD 委員長 平岩和美

教員間授業参観につきまして

日頃より FD 活動にご協力を頂きありがとうございます。

FD 委員会では、大学教員としての資質向上のために、教員間授業参観を行います。

授業参観を希望する教員は、あらかじめ推薦授業から希望講義の担当教員にご連絡ください。各教員が前期講義期間中に1回以上、推薦授業の参観をお願いします。なお新任教員の方は複数回、参観してもかまいません。

参観希望を受けた先生方は、ZOOM アドレス連絡、オンデマンド講義内容の公開等のご協力の程、宜しくお願いいたします。

1. 公開授業実施報告書（別紙）について

授業聴講後は添付の報告書を各学科 FD 担当教員と授業担当者までメールにて、ご提出下さい。

FD 授業参観

推薦授業ご協力のお願い

藤村先生、高島先生、川畑先生、上川先生、角田先生

お世話になります。この度 FD 委員会において、教員間授業参観を企画しております。
富樫学部長より、学生アンケートにより評価の高い授業を行っていらっしゃる先生方をご推薦いただきました。

先生方の了承後、各教員へ周知します。

先生方へ依頼がありましたら、ZOOM 授業のアクセス先やオンデマンド授業の公開、対面授業の日時を教えていただければと存じます。

今回は学部、学科を超えて聴講しても良いということになりましたので、看護や子ども教育の先生から聴講の希望があるかもしれません。

前期授業も半分終わりましたが、何卒ご協力をお願いいたします。

FD 委員長

平岩和美

FD委員会 様

教員相互授業参観実施報告書（聴講者用）

提出日 年 月 日

担当教員名		授業開講学科	看護・子ども・PT・OT
授業科目名		受講生数	
実施日		実施場所	
本日の講義のテーマ			
<p>本報告書の趣旨は、ご自分の授業改善のために行うものでありますが、以下の項目について、可能な範囲でご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 授業中の学生の受講態度など（オンデマンドの場合は記載しなくてよい）2. 自分の講義との相違点あるいは学ぶべき良い点など3. 本公開授業を聴講して、自分の実践を振り返り、自分の講義の課題や改善点など4. 感想			

※提出先：各学科のFD委員（看護：松原，リハ：平岩，子ども：戸谷）及び講義担当教員宛てにメール添付でお送り下さい。

FD 教員間授業参観 (2021 年度前期) (案)

文責：FD 委員平岩

目的

授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互参観・授業公開を実施します。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄について解決策を見出すことで授業改善に役立てます。

方法

各学科の推薦講義を参観の対象とします。他の学科の講義を参観しても結構です。

対象講義 教員

理学療法学専攻教授 藤村昌彦専攻長

理学療法学専攻准教授 上川紀道先生

作業療法学専攻准教授 川畑なみ先生

作業療法学専攻講師 角田孝行先生

＊ロイロノート FD 参観用授業にオンデマンド講義を UP していただき、各教員は可能な時間に参観します。

＊ほか川畑先生には、6 月末から 7 月の対面講義を公開していただく予定です。講義日程と教室が決まりましたら、お知らせします。

看護学科教授 津田右子先生 (基礎看護学)

「基礎看護学概論」の講義で、水曜日の 5 時間目 (16 : 20-17 : 50)

6 月 16 日、23 日、30 日、7 月 7 日、14 日 です。

看護学科准教授 藤原理恵子先生 (小児看護学)

「発達看護学概論」の講義で、月曜日の 2 時間目 (10 : 40-12 : 10) に 6 月 14 日 (月)、21 日、28 日の 3 回あります。

＊看護学科の講義は ZOOM です。参観希望者については、リハビリ学科で取りまとめて看護 FD 委員松原教授に連絡します。希望者は FD 委員平岩まで 6 月 15 日までにお申し込みください。

子ども教育学部 未定

＊決まり次第お知らせします。

参観後

別紙の報告書を共有フォルダ FD 参観授業へ、ご提出ください。2021 年 6～7 月中 (今年度前期) に各教員 1 回以上の参観をお願いします。

FD 教員間授業参観（2021 年度前期）実施報告

FD 委員会報告

8.26

1) 2021 年度前期教員間授業参観の実施状況

リハビリ学科教員 21 人中、参加者（報告書提出者）16 人、実施率 76.2%

令和 3 年 8 月 20 日

学部長への報告

富樫学部長

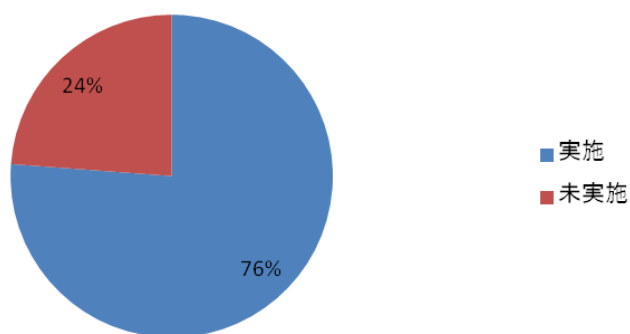
お世話になります。6 から 7 月にかけて行いました 2021 年度教員間授業参観の実施状況を報告いたします。

リハビリ学科教員（学部長を除く）21 人中、参加者（報告書提出者）16 人、実施率 76.2%、未提出：5 名

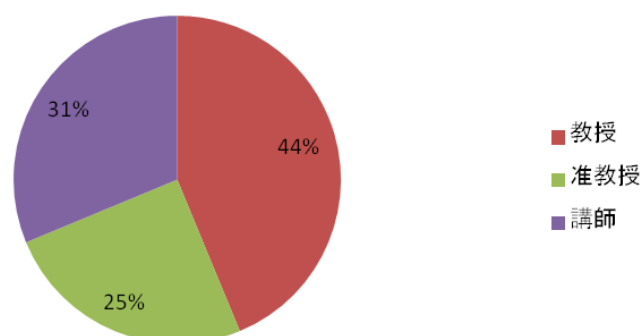
看護学科教員 31 人中、参加者 24 人、77.4%

看護学科からもリハビリ学科の授業を参観できるようにしておりましたので、看護学科教員のうちリハビリ学科教員の授業を参観した方は 17 人。

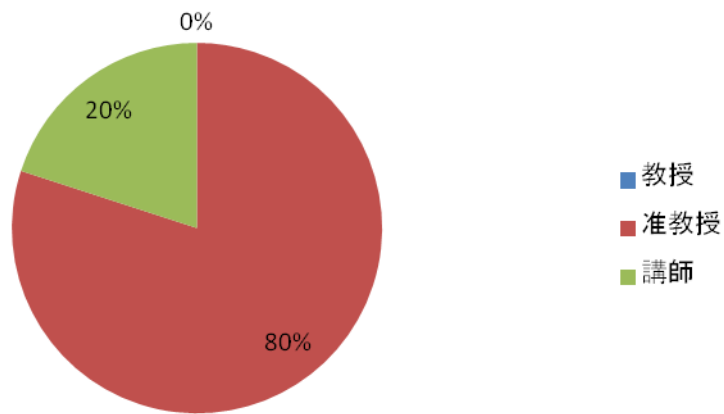
FD授業参観実施率



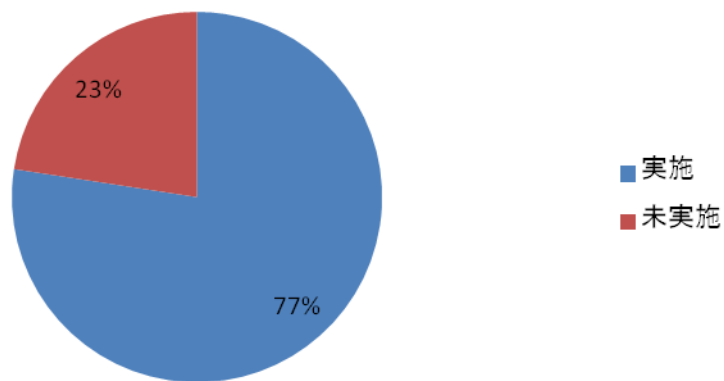
FD授業参観参加者内訳



FD授業参観未実施者内訳



看護学科FD授業参観実施率



評価：

- ・教授は全員実施している。
- ・未実施者は准教授が多い。
- ・看護学科の方が実施率が高い。

第3回 FD 委員会議事録

FD 委員会メール審議

R3. 9. 10

目的：遠隔授業をふまえた授業アンケートの見直し

総務より報告を受け、授業アンケートを見直し。コロナウイルス感染拡大に伴う勤務のため、メール審議とする。

FD 推進委員各位

お世話になります。後期の授業にあたり授業評価アンケート内容のご確認をお願いします。昨年、教務委員会にてオンライン対応のアンケートを作成いただいておりましたが、後期は対面オンライン併用となり、両方の内容を備えたものが必要となりました。変更案を送りますので、ご意見やお気づきの点がありましたら9月17日までに、ご教示ください。内容が、これでよろしければ総務に伝えます。

FD 委員 平岩

以下、現在のアンケート様式

令和3年度【前期】授業評価アンケート結果

N12101

年次・学期		区 分		対象者数	
教 員 名				回答者数	
科 目 名				回 答 率	

設問Ⅰ この授業について、あなたはどのように感じましたか？下記の項目ごとにマークしてください。

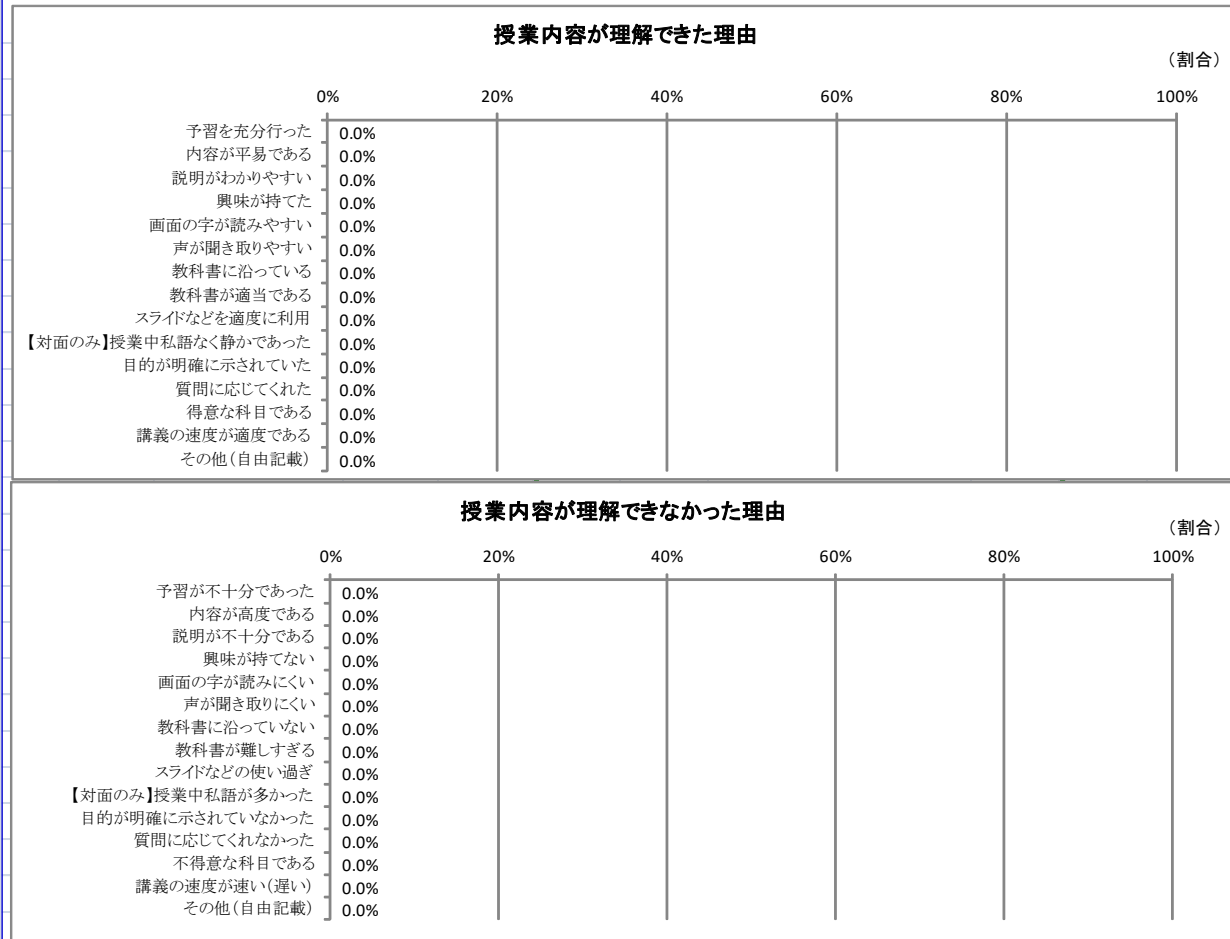
※肯定的割合は上2段階の人数割合
否定的割合は下2段階の人数割合

	評価項目	平均	人数分布					肯定的 割 合	否定的 割 合
			きわめてそ う思う	そう思う	そう思わな い	全くそう思 わない	未回答		
A	授業内容はシラバスに沿っていましたか？								
B	【オンライン】授業の実施は計画的でしたか？ 【対面授業】試験や評価判定基準は明確でしたか？								
C	授業内容は理解できましたか？								
D	【オンライン】授業の理解を深めるための工夫（小テスト やレポートなど）は行われていましたか？ 【対面授業】教員は授業態度の悪い学生に注意して いましたか？								

※各項目の 評価は4段階評価(1～4)で、「4」が最も高い評価となります。

設問Ⅰ－Cについての理由

(「きわめてそう思う」「そう思う」を選択した場合は理解できた理由を1つ、「そう思わない」「全くそう思わない」を選択した場合は理解できなかった理由を1つ選択)



設問Ⅱ この授業におけるあなた自身のことについて、該当する項目ごとにマークしてください。

	評価項目	人数分布				
A	この授業のために指定された教科書(テキスト)等は購入した	はい	いいえ	該当なし	未回答	
B	この授業のために予習・復習を行った	充分に行った	ある程度した	全くしなかった	未回答	
C	【対面のみ】授業中、私語など他人に迷惑をかけなかった	はい	いいえ	未回答		
D	この授業への出席は次のとおりであった	すべて出席	4/5以上	2/3以上	2/3以下	未回答
		14				

令和3年度【前期】授業評価アンケート結果

N12101	年次・学期	区 分	対象者数
	教 員 名		回答者数
	科 目 名		回 答 率

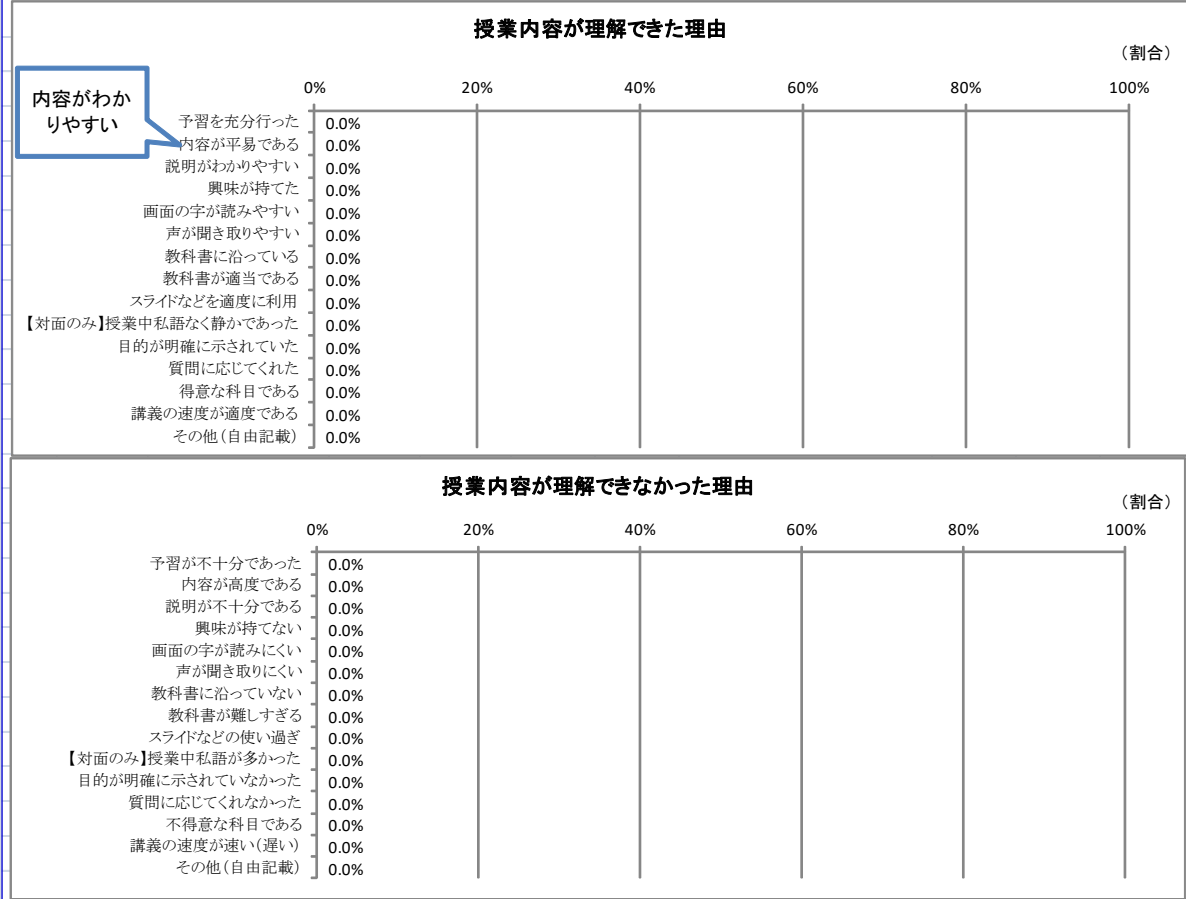
設問Ⅰ この授業について、あなたはどのように感じましたか？下記の項目ごとにマークしてください。

※肯定的割合は上2段階の人数割合
否定的割合は下2段階の人数割合

	評価項目	平均	人数分布					肯定的割合	否定的割合
			きわめてそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	未回答		
授業は計画的に行われ評価基準は明確でしたか？	授業内容はシラバスに沿っていましたか？								
	【オンライン】授業の実施は計画的でしたか？								
	【対面授業】試験や評価判定基準は明確でしたか？								
C	授業内容は理解できましたか？								
授業の理解を深める工夫は行われていましたか？	【オンライン】授業の理解を深めるための工夫(小テストやレポートなど)は行われていましたか？								
	【対面授業】教員は授業態度の悪い学生に注意していましたか？								
目的の評価は4段階評価(1～4)で、「4」が最も高い評価となります。									

設問Ⅰ～Cについての理由

(「きわめてそう思う」「そう思う」を選択した場合は理解できた理由を1つ、「そう思わない」「全くそう思わない」を選択した場合は理解できなかった理由を1つ選択)



設問Ⅱ この授業におけるあなた自身のことについて、該当する項目ごとにマークしてください。

	評価項目	人数分布				
A	この授業のために指定された教科書(テキスト)等は購入した	はい	いいえ	該当なし	未回答	
B	この授業のために予習・復習を行った	充分に行った	ある程度した	全くしなかった	未回答	
C	【対面のみ】授業中、私語など他人に迷惑をかけなかった	はい	いいえ	未回答		
D	この授業への出席は次のとおりであった	すべて出席	4/5以上	2/3以上	2/3以下	未回答

R3 年 9 月 17 日

授業アンケートに関わるメール審議

委員の意見

・項目 A が

授業内容はシラバスに沿っていましたか？

と授業の計画についての意味も含まれていますので、

下記の項目 B のオンライン用の質問も対面授業用の「評価基準は明確でしたか」と統一してよろしいのではと思いました。

【オンライン】授業の実施は計画的でしたか？

【対面授業】試験や評価判定基準は明確でしたか？

・授業は計画的に行われ評価基準は明確でしたか？

この質問は「計画的な講義」と「評価基準の明確化」の 2 つの要素がありますので、設問を 2 つに分けた方が良いように思いました。

以上をふまえアンケートを令和 3 年 9 月 17 日に修正した。

メール審議

FD 委員各位

お世話になります。FD 委員会で検討した変更案を事務に提出しますのでご確認ください。

皆様には、貴重なご提案をありがとうございました。

FD 委員長 平岩

修正後アンケート様式（次頁）

令和3年度【前期】授業評価アンケート結果

N12101

年次・学期		区 分		対象者数	
教 員 名				回答者数	
科 目 名				回 答 率	

設問Ⅰ この授業について、あなたはどのように感じましたか？下記の項目ごとにマークしてください。

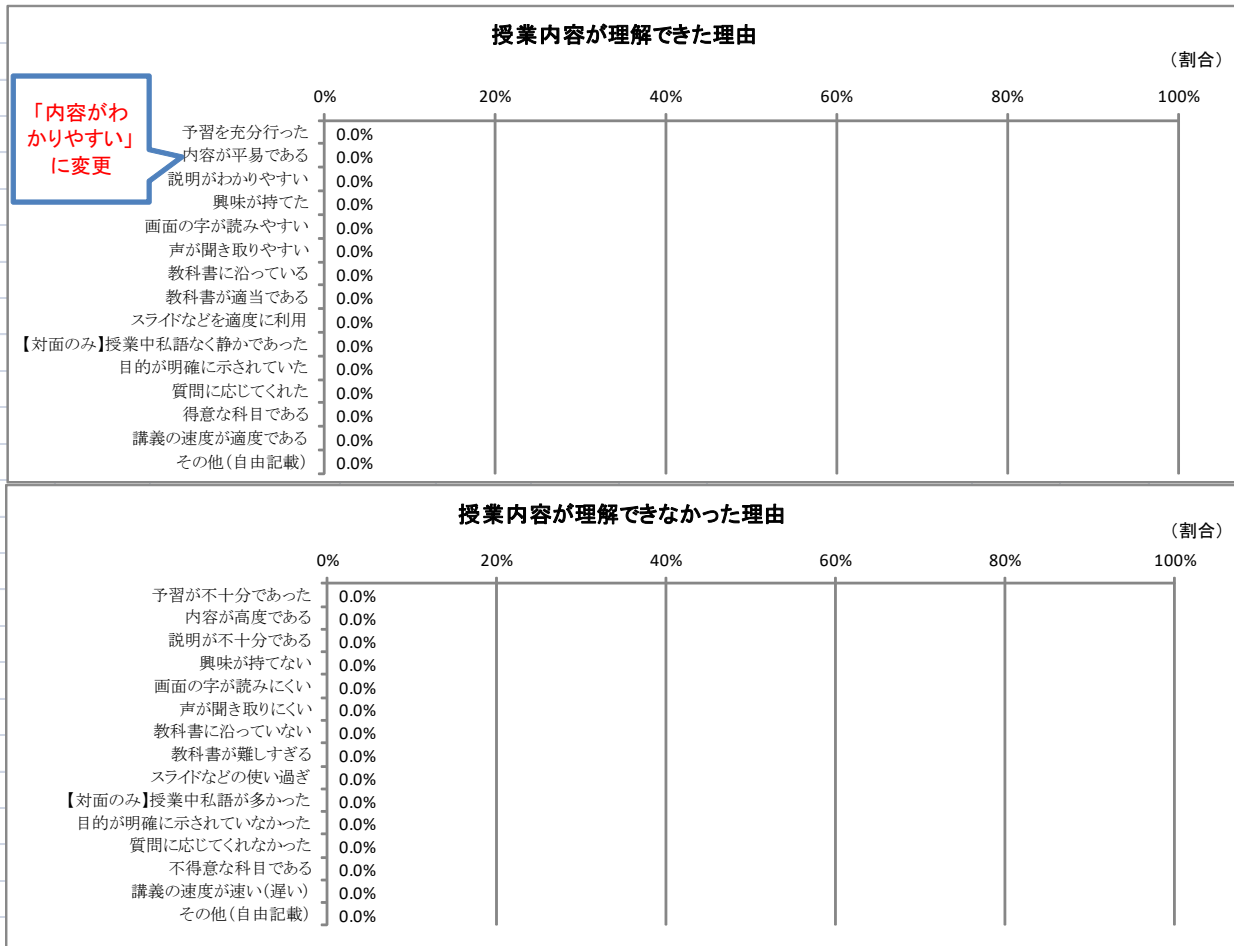
※肯定的割合は上2段階の人数割合
否定的割合は下2段階の人数割合

	評価項目	平均	人数分布					肯定的割合	否定的割合
			きわめて そう思う	そう思う	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答		
A	授業内容はシラバスに沿っていましたか？→授業は計画的に実施されましたか。に変更								
B	【オンライン】授業の実施は計画的でしたか 【対面授業】試験や評価判定基準は明確でしたか？→評価基準は明確でしたか？に変更								
C	授業内容は理解できましたか？								
D	【オンライン】授業の理解を深めるための工夫(小テストやレポートなど)は行われていましたか？ 【対面授業】教員は授業態度の悪い学生に注意していましたか？→授業の理解を深める工夫は行われていましたか？に変更								

※各項目の 評価は4段階評価(1～4)で、「4」が最も高い評価となります。

設問Ⅰ－Cについての理由

(「きわめてそう思う」「そう思う」を選択した場合は理解できた理由を1つ、「そう思わない」「全くそう思わない」を選択した場合は理解できなかった理由を1つ選択)



設問Ⅱ この授業におけるあなた自身のことについて、該当する項目ごとにマークしてください。

	評価項目	人数分布				
A	この授業のために指定された教科書(テキスト)等は購入した	はい	いいえ	該当なし	未回答	
B	この授業のために予習・復習を行った	充分に行った	ある程度した	全くしなかった	未回答	
C	【対面のみ】授業中、私語など他人に迷惑をかけなかった	はい	いいえ	未回答		
D	この授業への出席は次のとおりであった	すべて出席	4/5以上	2/3以上	2/3以下	未回答

FD リハビリテーション学科研修会「過換気症候群への対応」概要

日時：令和 3 年 9 月

目的： 過換気症候群の学生に対する対応

コロナ化において、対面におけるストレス耐性の低下が懸念される。

令和 3 年前期試験時に体調不良の学生の報告があったことから「過換気症候群への対応」について FD 委員会リハビリテーション学科にて勉強会を企画し、案内（別紙 1）する。

(別紙1)

FD リハビリテーション学科研修会「過換気症候群への対応」案内

教員各位

お世話になります。昨今、校内にて過換気症候群の発生があります。

そこで大変急ではありますが、9月16日(木)10時から11時半、101教室にて過換気症候群に対する対応について勉強会を行います。

講師は沖中先生です。実技も交えて講義していただく予定です。

後期の授業開始をふまえ急遽行うこととなりましたので、お手すきの先生はどうぞお集まりください。

FD 委員 平岩

教員各位

お世話になります。9月16日過換気症候群勉強会の持ち物について伝達です。

呼吸方法について実技を行いますので、各自フェイスシールドをご持参ください。

この案内は教員全員に送っていますので、欠席される方はお読み捨てください。

FD 委員 平岩

校内コロナウイルス感染者の発生により、勉強会を延期、資料を配布する。

教員各位

昨日、開催予定でした過換気症候群への対応資料を沖中先生より預かりましたので、各メールボックスに入れてあります。

後期対面授業開始の前にご一読くださいますようお願いいたします。

FD 委員 平岩

教員各位

お世話になります。本日2限目、3階ADL室にて過換気症候群の勉強会を行います。参加の方は、フェイスシールドと先日メールボックスへ配布した資料をお持ちください。

講師は沖中先生です。

FD 委員 平岩

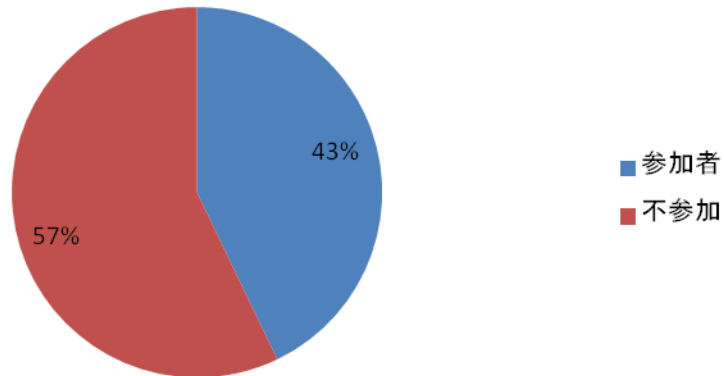
令和3年リハビリテーション学科FD研修会「過換気症候群への対応」実施報告

日時：令和3年10月1日

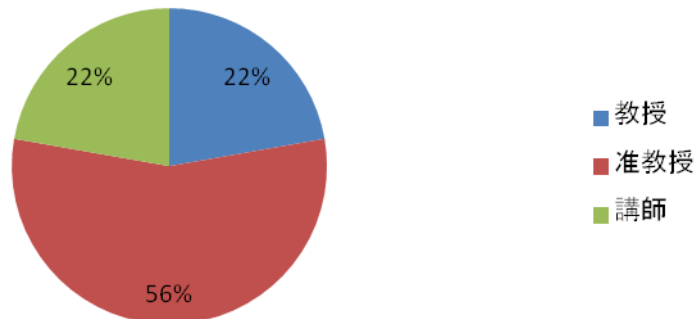
場所：広島都市学園大学西風新都キャンパスADL室

講師：看護師 沖中和子（広島都市学園大学西風新都キャンパス保健室）

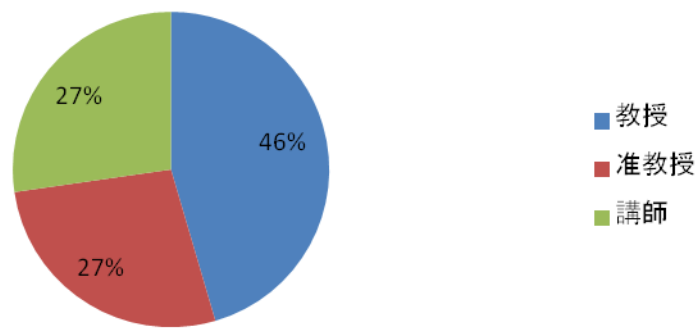
「過換気症候群への対応」研修



「過換気症候群への対応」 研修参加者の内訳



「過換気症候群への対応」 研修不参加者の内訳



感想：スライド説明、配布資料、実技指導もあり、具体的な支援についてイメージがわいた。

評価：

- ・後期授業が開始されてからの実施となったため、参加者が半数以下であった。
- ・参加者は准教授、不参加者は教授の割合が高い。

FD 授業参観実施者名簿

教授	藤村 昌彦
	伊藤 祥史
	平岩 和美
	宮崎 洋幸
	甲田 宗嗣
	谷川 良博
	平井 秀雄
准教授	上川 紀道
	馬屋原 康高
	平尾 文
	高島 千敬
講師	石倉 英樹
	宮原 崇
	山川 敦史
	角田 孝行
	猪村 剛史

「過換気症候群への対応」研修参加者名簿

教授	平岩 和美
	宮崎 洋幸
准教授	川畑 なみ
	上川 紀道
	牧田 亨介
	平尾 文
	加藤 みわ子
講師	山川 敦史
	渡邊 哲也

広島都市学園大学 FD 推進委員会 委員名簿

健康科学部	リハビリテーション学科	教授 平岩和美 (委員長)
		教授 谷川 良博
		准教授 馬屋原 康高
	看護学科	教授 松原 みゆき
		准教授 後藤 淳
		准教授 金藤 亜希子
子ども教育学部	子ども教育学科	准教授 戸谷 敦子